

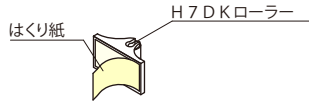
DKローラー施工説明書

本製品をご使用の前に

本製品は、引き戸の経年使用により扉のズレで、飾り棧が破損することを予防するものです。扉のチリ調整は、**振れ止めによる調整及び、戸車の調整で行なって下さい。**その際に、DKローラーが扉の小口に当たらないようにして下さい。**扉にDKローラーが当たると、小口が壊れたり、扉に跡がつく可能性があります。**

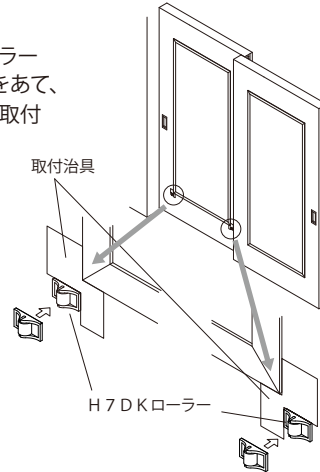
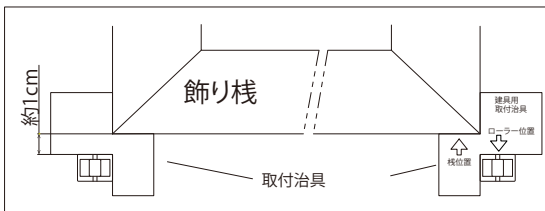
■引き違い戸の場合

- 1) DKローラーのはくり紙を剥がして下さい。



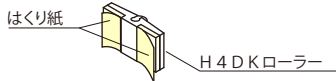
- 2) 右図のように飾り棧どうしが接触する側の面に、建具用のH7 DKローラーを貼り付けます。貼り付け位置は、図のように飾り棧の下角に取付治具をあて、ローラー位置にDKローラーを貼り付けて下さい。逆側の角の場合は、取付治具の裏面をご使用下さい。

貼り付け位置図



■引き込み戸の場合

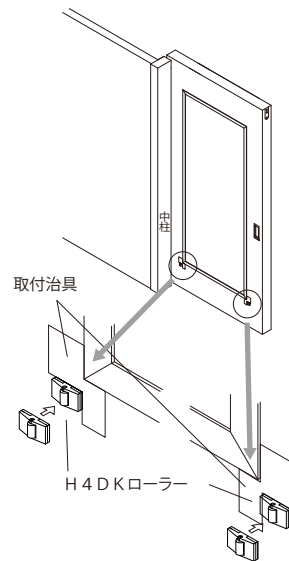
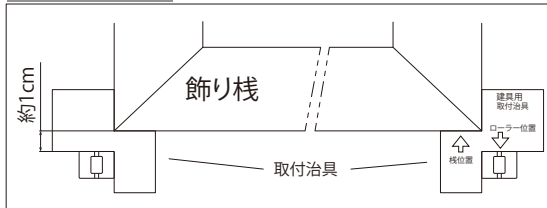
- 1) DKローラーのはくり紙を剥がして下さい。



- 2) 図のように中柱側の面にH4 DKローラーを貼り付けます。貼り付け位置は、図のように飾り棧の下角に取付治具をあて、ローラー位置にDKローラーを貼り付けて下さい。逆側の角の場合は、取付治具の裏面をご使用下さい。

※取付後に数回、開閉確認を行なって下さい。棧に当たる場合は、金具(戸車、振れ止め)にて、調整を行ってください。

貼り付け位置図



H7: 建具用DKローラー
H4: 枠用DKローラー

■引き違い戸のH7 DKローラー貼り付け箇所	■引き込み戸のDKローラー貼り付け箇所	DKローラー必要数量	
		H7	H4
		-	2
		2	2
		4	2
		6	2

◆施工上の注意

- H7 DKローラーとH4 DKローラーを間違えないようにして下さい。
- 扉の向き合った面の両方にDKローラーを貼らないでください。
- 縦・横を間違えないように、平行に貼り付けてください。
- 接着面の汚れや水分、油分をふき取り、よく乾かしてご使用ください。
- 接着面に触れたり、貼り直ししたりすると接着力が落ちます。